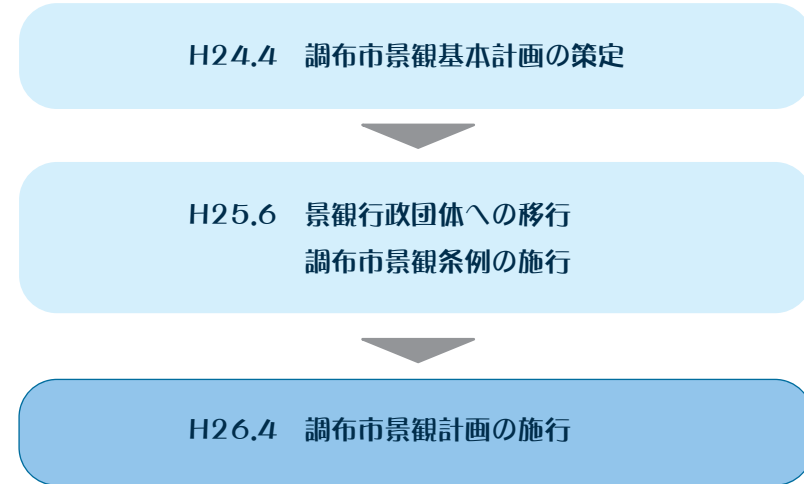


景観まちづくりの取組

- 調布市では、平成25年6月に景観行政団体に移行し、景観条例や景観計画を施行するなど、景観まちづくりの取組を進めてきました。今後もより地域にふさわしい景観づくりを推進していきます。



- 今後は、市民の皆さんの参加と協働による景観まちづくりに向けて、引き続き取り組んでいきます。
- 市民の皆さんにご参加いただける取組も検討中です。今後も景観だよりでお知らせしていきます。

お知らせ

景観まちづくりの出前講座を行っています

- 調布市では、市の景観まちづくりの取組について、お話しする出前講座を行っています。なかなか知る機会のない景観について学習し、身近なことから取り組んでみませんか。
- 受講を希望する方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

対象：市内に在住、在勤、在学している5人以上の団体
内容：調布市景観条例、調布市景観計画について
時間：1時間程度

《お問い合わせ先》

生活文化スポーツ部 生涯学習交流推進課
Tel：042-441-6112 Fax：042-441-6115



調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 mail：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちよっぴ 景観 だより

平成27年5月29日発行

第24号

景観まちづくりの 取組を紹介します

市ではより良い景観まちづくりに向けて、さまざまな取組を行っています。

今回は、市が行っている景観まちづくりの取組について紹介します。



目次

- 調布市景観形成ガイドライン（色彩編）の紹介（2～3ページ）
- 景観まちづくりの取組（4ページ）
- お知らせ（4ページ）

調布市景観形成ガイドライン（色彩編）の紹介

景観形成ガイドラインって？

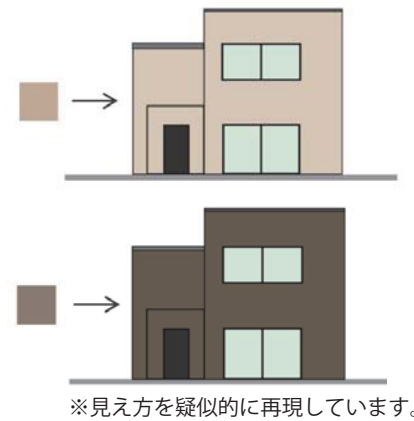
- 調布市では、平成27年3月に景観形成ガイドライン（色彩編）を策定しました。
- ガイドラインは、景観計画で定める色彩基準について解説しているものです。
- 色彩の知識や考え方、地区の特性を踏まえた建物の推奨色について紹介しています。



建物の色はどう見えるの？

色の面積によって見え方は変わります！

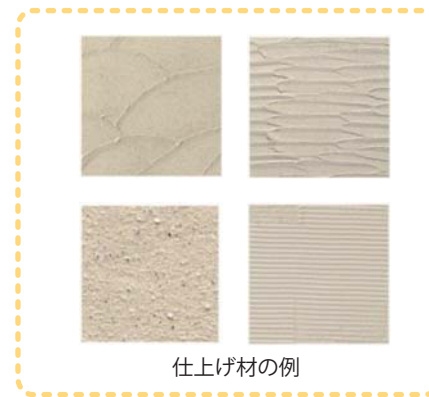
- 建物の色は、大きな面積になったとき明るさや色味が変化して見えることがあります。面積が大きくなると、明るい色はより明るく、暗い色はより暗く見えます。
- 建物の色を決めるときは、色見本と実物の印象の違いに十分注意しましょう。



※見え方を疑似的に再現しています。

仕上げによって見え方は変わります！

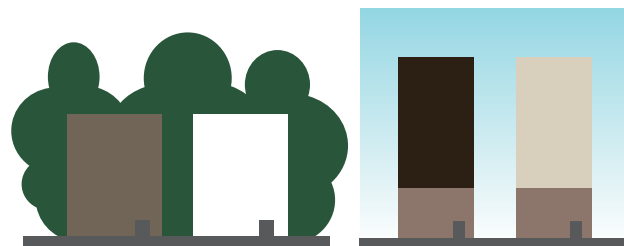
- 建物にはさまざまな仕上げ方法があり、何を選択するかで建物の印象も変わります。
- 同じ壁面の色でも、塗装や光の当たり方の工夫次第で、さまざまな表情が生まれます。



仕上げ材の例

背景によって見え方は変わります！

- 緑を背景にすると、建物の色は極端に明るい色より、ベージュ系の落ち着いた色が調和します。
- 逆に青空を背景にすると、建物の色は極端に暗い色より、明るい色が調和します。
- 建物の背景によって、調和する色を選択しましょう。



建物にはどんな色がいいの？

- 調布らしい崖線の緑や川などの自然環境、伝統を感じさせる歴史文化資源などの色は、地味で落ち着いた色に集中しています。

市内の自然環境の色



市内の歴史文化資源の色



- 現在市内にある建物の外壁にも、茶色系の色が多く使用されています。
- ガイドラインでは、建物の外壁色について、使用をお勧めする推奨色を選定しました。
- 推奨色は、自然環境や歴史文化資源などを引き立て、周辺の建物と調和する色を選定しています。



深大寺通り周辺景観形成重点地区



歴史文化資源を引き立てる低彩度の色

一般地域・景観形成推進地区



緑を引き立てる低彩度・中明度の色

※彩度は色の鮮やかさ、明度は色の明るさのことです。

※印刷による色再現のため、実際のマンセル値と図版等の色彩が異なる場合がありますのでご注意ください。